

公益財団法人 静 嘉 堂
平成 22 年度 事業 計画 書
自 平成 22 年 4 月 1 日 至 平成 23 年 3 月 31 日

1. 開館日数

文庫 288 日（閲覧日及び展示日数）、 美術館 189 日（展示日数）

2. 展覧会

〈平成 22 年〉

武家文化の輝き—静嘉堂の古刀と工芸

4 月 10 日（土）～5 月 30 日（日） 〈38 日開催〉

鎌倉時代の刀剣を中心に、合戦の様子を物語る絵画、中世の武士たちの文化を形作った中国陶磁や日本の漆芸の作品を展示します。

錦絵の美—歌川国貞・歌川広重の世界

6 月 12 日（土）～8 月 8 日（日） 〈50 日開催〉

錦絵界を代表する浮世絵師、歌川国貞(三世歌川豊国)と歌川広重の作品の中から代表作を選び、精緻を極めた彫り・摺りの技術的な側面にも光をあてつつご紹介します。

中国陶磁名品展（仮）

9 月 25 日（土）～12 月 5 日（日） 〈62 日開催〉

岩崎彌之助は、明治期にお雇い外国人 F・ブリンクリーの陶磁器コレクションを一括購入し、嗣子小彌太は、それを下地に新規出土品の積極的購入などにより鑑賞陶器の一大コレクションを作りました。国内有数の中国陶磁コレクションを公開します。

岩崎家の人形展—桐村コレクションのお雛様を迎えて—（仮）

2011 年 2 月 5 日（土）～3 月 21 日（月・祝） 〈39 日開催〉

昭和初期、岩崎小彌太が夫人孝子に贈った童子雛人形（個人蔵）が里帰りし、木彫彩色御所人形の群像（54 体）「鯛車曳き・宝船曳き・七福神・餅つき」（当館蔵）と併せて展示します。